



焼身抗議

中国四川省 チベット人自治省では本年3月より11名におよぶ青年僧および尼僧（2名）が 焼身抗議をおこない 半数が死亡、あとは状況不明

四川省の北部では2008年より宗教弾圧を含め人権弾圧が強化され、それにチベット人は平和的な抗議をおこなってきました。しかしながら 全く出口のないことを憂い 全世界の人々に 伝え、外の世界からの 調査、報道、支援を求めるべく 僧侶たちが、わが身に火を放ち、中国政府に抗議を行っているのです。

「チベット独立」「チベット語を返せ」

「ダライ・ラマをチベットに」

「ダライ・ラマのご長寿を」 を口に出す、

「チベットの旗」「ダライ・ラマ」の写真を示す だけで

たくさんのチベット人が逮捕され 3年以上の懲役刑、強制労働に送られました。
21世紀に入ってもまだこういう専制国家が存在しています。

世界中で状況を憂慮する大勢の人たちが支援の活動をおこなっています。特に世界の大国のアメリカでは議会の人権委員会が公聴会を行い、現状にたいして報告書を通じて 直ちに蛮行の停止を呼びかけております。

G - 20の首脳に対しては 多くの支援者がフランスのニースだけでなく世界中で中国の蛮行の停止を呼びかけました。日本人の多数を占める仏教が消されようとしている現状を知ってください。我が政府にも状況改善を呼びかけてください。

パルデンの会 palden.org